取扱説明書

MEPS-1000I

※保証書付

BYD蓄電池ユニット

この度は「BYD蓄電池ユニットMEPS-1000I」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

ご使用前に「安全上の注意(3·4ページ)」を必ずお読みのうえ正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでもご覧になれるよう、お手元に大切に保管してください。
保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめてください。

ご使用の前に

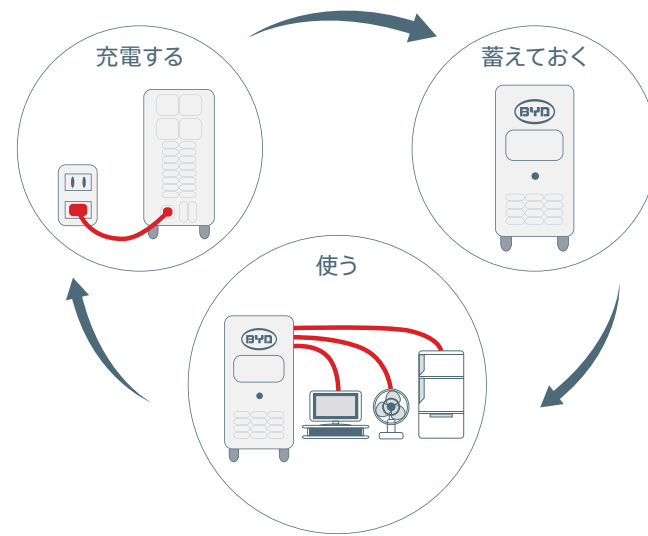
使いかた

困ったときに

アフターサービス

はじめに

使用目的･使用対象

ご家庭で電気を常時蓄えておくことができ、必要に応じていつでも取り出すことができます。充電によって繰り返し使う事が可能なので電力不足が心配される消費電力ピーク時にも役立ちます。
また、可動式なのでお部屋内のどこでも使うことができます。
冷蔵庫･液晶テレビ･ノートパソコンなど様々な家電製品に対応しています。
詳しくは12･13ページ「お使いになれる家電製品の例」をご参照ください。

製品特徴

次世代型、リチウムフェライト電池搭載

本システムは、リチウムフェライト電池、充電器、インバーター、BMSを1台にすべて搭載することで、操作のしやすさ、使いやすさを実現させた、大容量の蓄電池ユニットです。

大容量を可能にした、BYDの最先端技術

電気自動車の動力として開発されたリチウムフェライト電池を採用することで、大容量で安定した蓄電池の製造に成功しました。
これにインバーター、BMSを組みあわせることで、電圧を制御し、より安全性を高めました。100%充電になった時は退充電を制御し、1,000w以上の外部機器とつないだ時は過放電を制御します。BYDの最先端技術が活かされた、安定性の高いパワフル蓄電池ユニットです。

リチウムフェライト電池とは？

携帯電話やデジタルカメラに使われている電池は、リチウムイオン電池です。
リチウムフェライト電池（リン酸鉄リチウムイオン電池）は、このリチウムイオン電池の一種で、電気自動車の動力用として新たに開発された最新式電池です。
これまでのリチウムイオン電池に比べて、耐久性が高く、自己放電※が極めて少なく、安定性があり、発火の危険性が少ないことが特長です。
また、蓄電池の種類に、リチウムポリマーやコバルト酸リチウムがあり、発熱、発火の問題点を抱えている製品もありますが、リチウムフェライト電池は、これらの電池で障害となっている諸問題を最小限に抑えた、次世代型の電池と言えます。
※自己放電とは、蓄えられている電気の量が、時間の経過とともに徐々に減少する現象をいう。自然放電ともいう。

安全上のご注意　必ずお守りください

本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や、他の人々への危害、財産の損害を未然に防止するために、必ずお守りいただく事項を、説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

危険	人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。
警告	人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。
注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

お守りいただく内容を次の絵表示で説明しています。

 一般的な危険･警告･注意
 発火注意
 一般的な禁止
 分解禁止
 火気禁止
ぬれ手禁止
 水ぬれ禁止
 必ず行う
 電源プラグを抜く

危険

取扱について

通気口やすきまに、ピンや針金など異物をさしこまない
発火･火災･感電･けがの原因になります。

本機器を変形･解体･分解したり、修理や改造しない
発火･火災･感電･けがの原因になります。

本機器を火中へ投下したり、加熱しない
発火･火災･感電･けがの原因になります。

本機器を複数台つなげて使用しない
発火･火災･感電･けが･故障の原因になります。

本機器を濡らさない
❶本機器に直接、水をかけないでください。　❷湿気の多い場所へ設置しないでください。
❸濡れた手で使用しないでください。❹機器の上に、濡れたものや、飲み物の入ったコップ、液体の入ったものを置かないでください。

スプレー缶･油タンクなど、可燃性のものの近くで使用しない
発火･火災の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 危険

ご使用場所について

直射日光やストーブのそばなど、
高温になる場所での使用・保管はしない

机や家具の上など、高所に置かない

毛足の長い絨毯や座布団の上など不安定な場所に置かない。
傾斜面に置かない

本体が転倒した場合、けがや重大な事故につながる恐れがあります

⚠ 警告

本機器・外部機器の電源（コンセント・コード・プラグ）について

変形したり、痛んだ電源コードや
電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

電源プラグを抜いて停止しない

外部機器の電源スイッチを切ってから
電源プラグを抜く

交流100V以外では使用しない

電源コードを傷つけない

電源プラグは根元まで
確実に差し込む

1,000W以下の機器を
使用すること

医療機器には使用しない

お手入れについて

ベンジン、シンナー、ガソリン、オイル類で本体を拭いたり、直接かけたりしない

お手入れ時は、必ず電源を抜く

はじめてお使いのときは、100％充電してからご使用ください。

すぐにお使いにならない場合は、電源ボタンをOFFにし、そのまま保管してください。
本機器をより長く、高性能でお使いいただくためにも、100％充電をおねがいします。

使用上のご注意　必ずお守りください

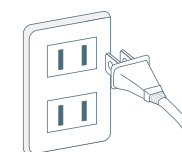
⚠ 注意

本機器・外部機器の電源（コンセント・コード・プラグ）について

充電時以外は、充電用プラグを
コンセントから抜く

たこ足配線はしない

充電しながら、外部機器を接続して使用しない

電源プラグのほこりは、
定期的に取り去る

移動・設置場所について

移動の際、凹凸のある場所をキャスターで移動させない

ご家庭内の段差のあるところ、テラスや屋外などの凸凹のある場所や砂利道を移動させますと、
キャスターの破損、本体の故障の原因となります。

本体を無理に押したり引きずったりしない

本体は約60kgの重量があります。無理に引きずったりすると床面を傷つける場合があります。
また、デリケートな床材でのご使用、長期の保管の際は、市販のキズ防止シートなどで床面を保護してください。

壁面にぴったりと設置しない

壁面に汚れや、キズの原因となります。

0から40℃の温度内で、使用する

上記温度範囲外でのご使用は、故障または
性能・寿命の低下の原因となります。

持ち運ぶときは取っ手を
確実に持つ

ドアの近くにおかない

ドアの開閉時にドアの汚れや、キズの原因となります。

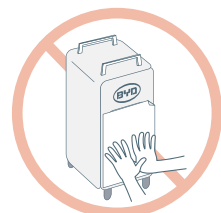
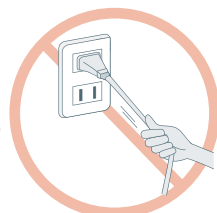
必ずキャスターの
ストッパーをかける

使用上のご注意　必ずお守りください

⚠ 注意

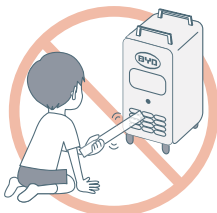
ご使用上の注意(お子様にはさわらせないでください)

小さなお子様やペットが、本機器のまわりで遊んだり、いたずらしないように充分ご注意ください

通気口を
ふさがない

電源コードを
コンセントから抜くときは、
コード部分を引っ張らない
※必ずプラグ部分を持って抜く

本体の上に、
腰掛けたり
乗ったり、
重いものを
乗せたりしない

本体の下に
手や足を入れたり、
揺らしたりしない

本体に衝撃を
与えない

通気口に指や鉛筆、
針などを入れない

ペットに
近づかせない

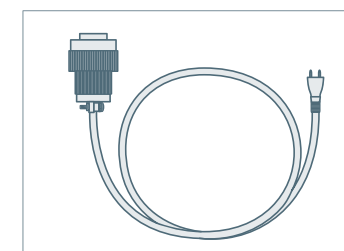
乳幼児の手の
届かない場所に保管し、
さわらせない

小さなお子様がいらっしゃる場合･ペットを飼っている場合、大人の目の
届かない場所での本機器の使用･保管はしない
※感電事故を防ぐためにも、お子様やペットが本機器に近づかないよう、十分ご注意ください

各部の名称

本体前面

本体背面

付属品

充電用プラグ

使いかた　～充電のしかた・保管のしかた～

本機器をご使用の際には、取り扱いおよび設置場所にご注意ください。(詳しくは3～6ページをご覧ください)

充電のしかた

1 背面の「充電用電源スイッチ」をONにする
(レバーを上にあげる)
外部機器が接続用コンセントに差し込まれている場合には、
外部機器の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください

2 背面の「充電用プラグソケット」に
付属の「充電用プラグ」を差し込む

「充電用プラグ」を
「充電用プラグソケット」に
確実に差し込んでください

3 ご家庭のコンセントに付属の
「充電用プラグ」をコンセントに差し込む
※差し込むと同時に充電メモリランプが点灯し、充電を開始します

充電用プラグをコンセントに
確実に差し込んでください

4 前面の「充電メモリランプ」が緑色に点灯します
点灯しているところが、現在の残量です

5 前面の「充電メモリランプ」の100％ランプが緑色に点灯したら、
充電完了です ※充電状態が100％に満たない段階でも、その時点での残量に
応じて使用することができます

6 「電源ボタン」をOFFにし、「充電用プラグ」を抜いてください
充電完了後、約45分経過すると自動的に電源がOFFになります。

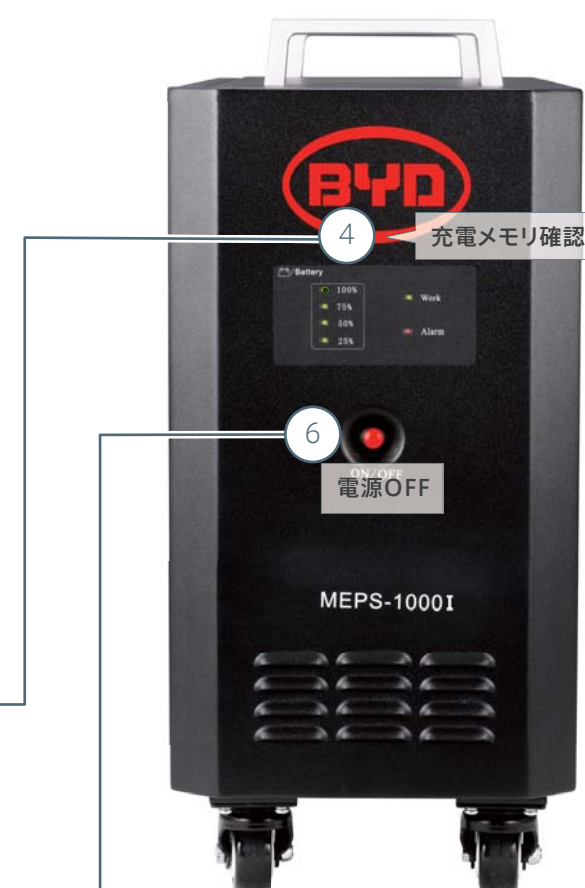
※トラブル対処方法は17ページ「点検と対策」をご参照ください
また、ご使用前・ご使用中に、異常現象がありましたら、すぐに外部接続機器の電源を切り、「電源ボタン」も切ってください

本体背面

レバーを上げて
スイッチＯＮ

充電用プラグを
差し込む

充電時間：約11時間（0%～100%まで充電した場合）

本体前面

充電完了後、すぐに使わない場合は？(蓄電させておくには…)

1 充電完了後「電源ボタン」をOFFにする
※45分経過した場合は自動で電源が
OFFになります

2 「充電用プラグ」を抜く
※外部機器が接続されている場合は、
接続されている機器すべてのプラグを
抜いてください

3 そのまま保管
(湿気やほこりの少ないところで)

お願い
本機器は、100％充電して保管しても、少しずつ放電していきます。※
より長く、高性能でご利用いただくために、6ヶ月に一度、100％充電をしてください。
その後、外部機器を接続し、試運転されることをおすすめします。
※100％蓄電された状態から3ヶ月後に、約10％減少します　※詳しくは15ページ「困ったときに～Q&A～」をご参照ください

機器の性能維持には、6ヶ月に一度は100％充電を！

使いかた　～外部機器の接続のしかた～

本機器をご使用の際には、取り扱いおよび設置場所にご注意ください。(詳しくは3～6ページをご覧ください)

外部機器の接続のしかた

1 前面の「電源ボタン」をＯＮにする(一度だけ、確実に押す)
「充電用プラグ」がコンセントに差し込まれている場合には、
「充電用プラグ」を抜いてください

2 前面の「充電メモリランプ」が緑色に点灯します
現在の残量を示しています

残量が少ない場合には、先に充電(☞8ページへ)

3 同時に「Workランプ」が緑色に点灯しピーと音がします
正常に作動したことを示しています

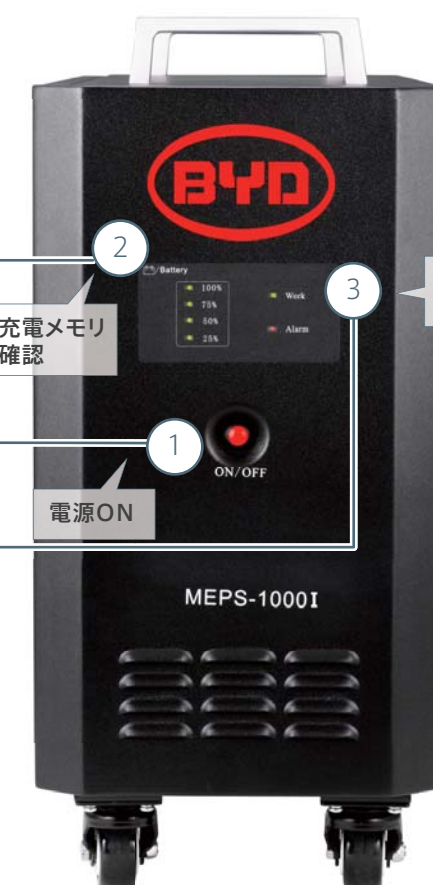
4 背面の「接続用コンセント」のフタを
上にあげ、差し込み口に外部機器のプラグを差し込む

※5秒以上、外部機器に接続しないと…

5 「Workランプ」の緑色と
「Alarmランプ」の赤色が点滅します。
これは、スタンバイ状態を示すもので、
この状態でも接続可能です。

「Workランプ」と
「Alarmランプ」が点滅を繰り返します
※故障ではありません

長期間(6ヶ月以上)使わない場合は？

1 外部機器の電源プラグを抜く ▶▶▶ 2 100%充電する(50%以上充電) ▶▶▶ 3 電源ボタンをOFFにする ▶▶▶
4 充電用プラグを抜く ▶▶▶ 5 そのまま保管(湿気やほこりの少ないところで) ▶▶▶ 6 お使いはじめ同様100%充電(8ページからはじめる)

接続コンセントについて

外部機器との接続用コンセント差し込み口は４ヶ所あります。合計消費電力が1,000Wh以内であれば、全てのコンセントに接続してご使用いただけます。

▼本体前面

2 充電メモリ確認
3 Workランプが緑色に
1 電源ON

▼本体背面

こんなときは、故障ではありません

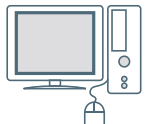
「電源ボタン」を押しても、「充電メモリランプ」も「Workボタン」も点灯しない･･･

▼

蓄電残量が少なくなっているかもしれません

「Workボタン」も点灯せず起動もしていない場合には、充電メモリが25%以下になっている状態が考えられます。
すべての機器の使用を中止し、100%充電後、再度、電源をＯＮにしてご使用ください。

※電源を入れた後、45分以上外部機器に接続していない場合にも、自動的に電源がOFFになります
この場合には、再度、電源ボタンをＯＮにしていただくとランプが点灯し、すぐにお使いいただけます

※トラブル対処方法は17ページ「点検と対策」をご参照ください
また、ご使用前･ご使用中に、異常現象がありましたら、すぐに外部接続機器の電源を切り、「電源ボタン」も切ってください

お使いになれる家電製品の例

本製品に接続してお使いになれる、家電製品の一例です。表示の消費電力は一般的な目安です。

製品・種類、モードにより消費電力が下記に表示した一例と異なる場合があります。また機器立ち上がり時などは瞬間的に消費電力も上がる場合があります。
ご使用時は、接続される家電製品の消費電力をご確認のうえご使用ください。

ご使用可能な家電製品例

※製品・種類、モードにより消費電力が異なるため、接続される家電の消費電力をご確認ください

複数の家電製品を組み合わせても、お使いいただけます。

複数家電接続時の使用可能時間は、下記の計算式で割り出せます

※ただし最大消費電力は、1,000Wまでです　※使用できるのは、100Vの製品に限ります

ご使用になれない家電製品例

※製品・種類、モードにより消費電力が異なるため、接続される家電の消費電力をご確認ください
※エアコンなどスイッチを入れたときに、起動時の消費電力が瞬間的に上昇しますので、ご注意ください

困った時に　～Q&A～

機能・性能について

Q どのくらいの時間、使えるの？

A ご使用になる外部機器の消費電力により異なります。100％充電（「充電メモリランプ」100％が緑色に点灯した状態）で2,400Wh蓄電されています。例えば、200Wの液晶テレビと400Wの冷蔵庫を同時使用した場合、**2,400÷（200+400）＝4** となり、4時間使うことができる計算となります。詳しくは、「お使いになれる家電製品の例」（12・13ページ）をご参照ください。

Q 使えない外部機器はあるの？

A-1 最大出力が1,000Wを超えるものは、お使いいただけません。エアコンやコーヒーメーカーなど、メーカーによっては1,000Wを超える製品があります。現在お使いの家電に記載された消費電力をご確認のうえ、ご使用ください。また、電圧が100V以外のものもお使いいただけません。詳しくは、「お使いになれる家電製品の例」（12・13ページ）をご参照ください。出力が1,000Wを越える外部機器を使用されますと、故障の原因となりますので、充分ご注意ください。

A-2 使用電力が10W以下の製品（携帯電話の充電器など）を単独で使用することはできますが、本製品の仕様上、1時間後に停止します。

Q 電源のないところでも、使用できる？

A はい、できます。キャスターがついておりますので、本体の移動は可能です。ご家庭内の段差のあるところ、テラスや屋外などの凸凹のある場所や砂利道を移動させますと、キャスターの破損、本体の故障の原因となりますのでお控えください。

Q 充電の時間はどのくらい？

A 0%から100%充電すると約11時間です。

Q 充電が残った状態から充電しても大丈夫なの？

A 途中からの充電も可能です。

Q 100％充電が完了しているのに、電源を入れたままにしておいたら、どうなる？

A 100%充電完了後、または電源を入れた後、外部機器に接続していない状態が45分以上続いた場合には、自動的に電源がOFFになります。ご使用の際は、再度、電源ボタンをＯＮにしてご使用ください。

Q 長期間使用しない場合は、そのまま保管しておけばいいの？

A そのまま、保管しておいていただいて構いません。（高温多湿・ほこりなどを避けた場所で保管してください）。ただし、安定的にご利用いただくために、6か月に一度、100%充電し、機器を作動させてください。（長期間、使わない場合でも、定期的に使用することでより長くご利用いただけます。）

Q いつまでも、電気を蓄えておくことができるの？

A 100%充電の状態でも少しずつ放電していきます。目安として3ヶ月で約10%ずつ放電していきます。

Q より長く製品の性能を維持させるには、どんな工夫が必要？

A 毎日おこなっていただくメンテナンスはありません。機器の性能保持のために、6ヶ月に一度、100％充電してください。その後、外部機器に接続し、試運転していただくと、電池の性能保護につながります。

Q 電池の寿命は、どのくらい？

A 約2,000回の充電・放電、もしくは8年の使用が可能です。2,000回、もしくは8年を経過しますと、蓄電可能容量が、約80％になります。

取り扱いについて

Q 専用の延長コードなどはありますか？

A ございません。離れた場所や高い位置にある電源とつなげる際には、市販の延長コードをお使いください。

Q 外部機器は、いくつ接続できるの？

A 外部接続のコンセントが４ヶ所あります。合計消費電力が1,000W以内であれば、全てに外部機器を接続してご使用いただけます。

Q 屋外や外へも持ち運びはできる？

A キャスターがついておりますので、本体の移動は可能です。ただし、凹凸の激しいところや砂利道などの移動は、キャスターの破損や本体の転倒の恐れがありますので、お控えください。また、水に濡れる所で使用しないでください。

困った時に　～Q&A～

取り扱いについて

Q　使用中に移動させても大丈夫なの？

A　使用中の移動は禁止です。

Q　お手入れはどうしたらいいの？

A　柔らかい布などで乾拭きしてください。その際、洗剤はご使用にならないでください。また、通気口のほこりやゴミはよく取り除いてください。

異常時の処置について

Q　本体、電源コード、プラグが異常に熱い・こげくさいにおいがする・本体が破損している場合はどうしたらいいの？

A　直ちに使用を中止してください。上記のような異常時に使用し続けると、電池内部の温度上昇にともない、故障、発火、感電、火災、けがの原因となります。異常を感じた場合はすぐに使用を中止し、18ページにある「お客様コールセンター」へご連絡ください。

注意が必要な外部機器の接続について

Q　医療機器への接続はできますか？

A　医療機器には使用しないでください。

Q　ソーラー発電との併用はできますか。

A　ソーラー発電の場合は、以下の2点があります。
❶ソーラーパネル直下（パワーコンディショナー）に直接機器を接続する。
❷ソーラーパネルから系統電力に電気を流し、家庭用コンセントから機器を使用する。

❶については、ソーラーパネルで発電される電力が不安定になる場合があるので、本機器を直接、接続することはできません。
❷については、ソーラパネルから系統電源へ流したもので、家庭用のコンセントから「充電用プラグ」によって、充電することが可能です。

困った時に　～点検と対策～

修理を依頼される前に…

下記の点検と処置をお願いします。処置後なお以上が続く場合は18ページにある「お客様コールセンター」へご連絡ください。

現象	点検ポイント	確認場所	原因と対策
充電操作を開始したのに蓄電しない	「充電用電源スイッチ」はONになっていますか	本機器 背面　右下	「充電用電源スイッチ」を上にあげONの状態にして、再度、充電してください。
	「充電プラグ」が「充電用プラグソケット」にしっかり差し込まれていますか	本機器 背面　左下	「充電プラグ」が「充電用プラグソケット」からはずれていないかご確認ください。 ※しっかり差し込まれていないと、発火や感電の原因となりますので、ご注意ください。
	ご家庭のコンセントに電気が来ていますか	—	ご家庭のコンセントに、電気が来ていない可能性があります。 ご家庭のコンセントに他の機器を接続して、通電しているかご確認ください。
外部機器を接続しても動かない	「電源ボタン」はONになっていますか	本機器 前面　中央	「電源ボタン」が押されていない可能性がありますので、「電源ボタン」を押してください。電源ボタンは、一度だけ、しっかりと押してください。
	充電メモリの残量は、どのくらいありますか（充電メモリランプは何％になっていますか）	本機器 前面　上部 充電メモリランプ	充電残量が少ないか、または全てなくなっている可能性があります。また、長期間ご使用になっていない場合も、自己放電により、電気がなくなっている可能性があります。「電源ボタン」をOFFにし、全ての外部機器のプラグを、「接続用コンセント」から抜いてください。100％充電後、再度、電源をＯＮにして使用してください。（詳しくは、8・9ページ「充電のしかた」へ）
	接続した外部機器が1,000Wを越えていませんか	外部機器の 消費電力 ワット数	消費電力が1,000W以上の外部機器や家電は、ご使用になれません。 また、複数の外部機器を使用している場合、合計の消費電力が1,000W以上を超えている場合も、作動しません。消費電力に応じて、数分起動してから電源がストップする場合と、起動した瞬間に電気の供給がストップする場合があります。 （詳しくは、12・13ページ「お使いいただける家電製品の例」へ）
	「接続用コンセント」に外部機器のプラグがしっかり差し込まれていますか	本機器 背面　右上	外部機器の電源プラグが「接続用コンセント」からはずれてないかご確認ください。また、「接続用コンセント」や外部機器のプラグに汚れなどが付着している場合は、拭き取ってから接続してください。
外部機器が使用途中で動かなくなった	蓄電残量が少ない、またはなくなっていませんか	本機器 前面　上部 充電メモリランプ	蓄電池の充電を使い切ってしまった可能性があります。「電源ボタン」をOFFにし、全ての外部機器のプラグを、「接続用コンセント」から抜いてください。100％充電後、再度、電源をONにして使用してください。 （詳しくは、8・9ページ「充電のしかた」へ）
	接続した外部機器が1,000Wを越えていませんか	外部機器の 消費電力 ワット数	消費電力が1,000W以上の外部機器や家電は、ご使用になれません。また、複数の外部機器を使用している場合、合計の消費電力が1,000W以上を超えている場合も、作動しません。消費電力に応じて、数分起動してから電源がストップする場合と、起動した瞬間に電気の供給がストップする場合があります。 （詳しくは、12・13ページ「お使いいただける家電製品の例」へ）
	「接続用コンセント」に外部機器のプラグが、しっかり差し込まれていますか	本機器 背面　右上	外部機器の電源プラグが「接続用コンセント」からはずれてないかご確認ください。また、「接続用コンセント」や外部機器のプラグに汚れなどが付着している場合は、拭き取ってから接続してください。

アフターサービスと保守サービス契約

お申し込み

「故障かな？」と思ったら、もう一度17ページの「点検と対策」をご参照ください。
処理後なお異常がある場合には、お買い上げの販売店または、下記「お客様コールセンター」へご連絡ください。

警告

ご自分で修理、解体はしないでください。
不具合のある状態のままご使用になりますと、故障や感電・火災の原因となります。

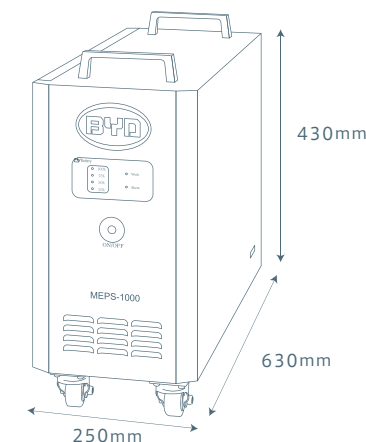
メーカー保証について

この製品は保証書付です。

- 保証書は販売店で所定の事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年です。
  ご購入後１年以内に故障が発生した場合は、無償にて修理・交換を実施いたします。なお、保証期間中でも
  有料になることがあります。次ページ（19ページ）の無料修理規定書内容をよくお読みください。

修理・故障については「お客様コールセンター」へ

仕様・保証書

機種名	BYD 『MEPS-1000Ⅰ』
サイズ(mm)	250(W)×430(H)×630(D)
質量	約60kg
出力電力	最大1,000W
出力電圧	AC100V(50Hz/60Hz)
蓄電池容量	2,400Wh
充電時間	約11時間
電池の種類	リチウムイオン(リチウムフェライト)
使用可能時間	500W出力で連続約5時間(一例)
電池寿命	約2,000回の充電可能

※出荷時にお届け先の周波数帯に調整後、出荷いたします。（お手元での周波数変更はできません。）

BYD大容量蓄電池ユニット保証書

機種名	MEPS-1000Ⅰ
保証期間	保証開始日より1年間
お買い上げ日	年　月　日

お客様

お名前　　　　　　様
〒
ご住所
お電話　（　　　）

販売店

住所・店名・電話番号
印

※本保証書は、保証期間中、下記の「無料修理規定」に定める範囲で本製品を無料で修理することをお約束するものです。
※本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間終了後、アフターサービスについてご不明な点は、本保証書記載の受付窓口またはお買い上げの販売店販売会社へお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書等の説明に従って正常な状態で、保証期間中に故障した場合は無料で修理します。この場合は、表記の販売店もしくは、「お客様コールセンター」にご依頼ください。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
   - ・取扱い上の不注意、誤用による故障および損傷。
   - ・当社または、当社指定の販売店以外による修理、改造による故障および損傷。
   - ・火災、天災地変または異常電圧、公害、塩害、異物またはゴキブリや虫の侵入などによる故障および損傷。
   - ・油煙、熱、塵、水、直射日光などの劣悪設置による場合。
   - ・お買い上げ後の輸送や移動または落下など、お客様における不適当なお取扱いにより生じた故障・損傷の場合。
   - ・本書のご提示がない場合。
   - ・本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。その他事実と異なる記載がされていた場合。
   - ・接続している他の機器に起因した故障および損傷。
   - ・周波数帯の異なる地域での使用による故障。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4. 故障その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)